

過去から届いた「緑」をそのまま未来へ 造園業の枠を超えた提案力 都市や街、一般家庭の生活空間を快適に！

東京総合造園

東京総合造園(町田市)
高ヶ坂、青柳義昭社長、
042・721・2711)

は、従来からの造園業に加え塗装事業や樹木治療事業など、社会の変化とともに活躍の場を広げている企業である。現社長が昭和53年に設立し今年で40周年を迎える同社は、今まで積み上げて



きた実績に対する取引先からの信頼も厚く、緑豊かな都市造りに貢献できるような日々努力を続けている。

会社と社会はもともと同義であり、社会の原点は家庭であるという観点から「業務に精進することにより社会参加を為す」を企業理念に掲げている青柳社長のつくり出す雰囲気は家庭的な社風につながり、従業員との距離も近い。

社長は、全国の造園業者が集う樹勢回復技術向上の研究会「NPO法人 藪会」の理事長としても活

躍している。学校や社境内などに残る老大木はその地域に生まれ育ち、生活する人々にとって精神的風土として共有され貴重な存在となっているが、都市化の進行とともにその

生育環境は過酷な状況に陥っている。そんな劣悪な現代環境の中、樹勢の衰退を防ぎ、また、衰え傷ついた老大木を活性化するため、樹勢回復技術の研究を行い実施している。

東京農業大学・早稲田大学などの学校関係から、多摩動物公園・街路樹・個人宅まで施工実績は多岐にわたり、さまざまな現場実績に基づいた技術力に関しても定評がある。

青柳社長以下社員一同、お問い合わせお待ちしております。



芝生化を行った「町田シバヒロ」など、同社の施工技術がうかがえる